



修学旅行

校長 五十嵐 圭一

3年生は、6月20日(木)から22日(土)までの2泊3日の日程で、京都・奈良方面へ修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、無事に予定通りの見学、体験を行うことができました。今年の修学旅行は、「京、しかと奈良う 日本文化」～みんなで1つの千手観音になろう～をスローガンに掲げ、実行委員長を中心に、企画・実施されました。

生徒たちの感想からは、「興福寺の中金堂が印象的でした。300年ぶりに再建された中金堂では、まず、木の良い香りがしました。そして、仏像が中であって感動しました。」「伏見稲荷大社を訪れ、特に千本鳥居がすごーくキレイで感動しました。」「(舞妓さんによる話を聞いて) 私たちと4歳しか変わらない18歳で、中学校卒業後、すぐに京都に行き修行に励んだという話に驚きました。やりたい事をはっきりさせるということは将来につながると思いました。」「(座禅体験で)心を落ち着かせて座っていると、こんなにも心地よいのかと感じました。あわてている時ほど心を落ち着かせてみることをこれからしていきたいです。」「(ハッ橋作り体験で)ハッ橋作りは埼玉では体験できないのですごく楽しかったです。しかもおいしかったです。」など、修学旅行での活動が充実していた様子がわかります。世界遺産を含め多くの文化財に直接触れたり、京都・奈良ならではの体験活動をしたりすることを通して、生徒たちは、改めて日本の伝統文化の素晴らしさを感じることができたのではないのでしょうか。

ところで、修学旅行の歴史は古く、明治時代から実施されていたようです。当時は、伊勢神宮や厳島神社などを目的地とする修学旅行が広く行われていたようですが、近年は、関東地方の多くの学校が京都・奈良方面に出かけるようになってきました。新幹線が開通するまでは、修学旅行専用列車「ひので」号が運行され、東京(品川)から京都まで、8時間近くかかり車中泊ということもあったようです。昭和45年からは、東海道新幹線に修学旅行専用列車が設定され、現在に至っています。ちなみに今回の修学旅行は、「のぞみ」号で、東京、京都間が約2時間20分です。

時期を同じくして2年生は、「未来くるワーク(職場体験学習)」を実施しました。お世話になった各事業所、地域の皆様には本当にありがとうございました。また、1年生が東京方面への校外学習、6組が市内校外学習と、すべての学年が校外での体験活動を行いました。

夏休みまで、3週間あまりとなりました。各学年ともに、13日(土)には、保護者会を予定しています。生活、学習、進路などについて、説明をする予定です。多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしています。



世界遺産【奈良 興福寺 中金堂】